

クールルーフの適正な普及に向けたシンポジウム

——都市を冷やす技術——

主催 環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会 クールルーフ推進小委員会

日時 2012年6月29日(金) 13:30~17:00

場所 建築会館会議室(港区芝5-26-20)

主旨

都市ヒートアイランド対策効果が期待できる屋根仕上げとして屋上緑化だけでなく、高反射率塗料、保水性建材などの屋根材も開発されてきている。本小委員会は、建物屋根(必要に応じて外壁や舗装面などを含む)の環境性能の評価をとりまとめ、対策技術の適切な選択を促すことを目的として活動してきた。具体的には、小委員会傘下のガイドライン検討WGにおいて、一般の人にも判りやすく、クールルーフ化すべきかどうかを判断できるための各技術の特徴、評価方法、測定方法、良い事例などを取りまとめ、ガイドブックの整備を進めてきた。本シンポジウムではガイドブック案の内容を紹介し、適正な普及のためにどのようなことが必要であるかを議論する。

プログラム

- | | |
|-------------------|---|
| ・ガイドブック作成の目的と利用方法 | 近藤靖史(東京都市大学/小委員会主査) |
| ・高反射率化技術の概要と適用事例 | 村田泰孝(崇城大学) |
| ・緑化技術の概要と適用事例 | 橋田祥子(明星大学) |
| ・蒸発利用技術の概要と適用事例 | 赤川宏幸(大林組) |
| ・クールルーフの性能評価方法の概要 | 竹林英樹(神戸大学/WG主査) |
| ・高反射率化技術の性能評価方法 | 酒井孝司(明治大学) |
| ・緑化技術の性能評価方法 | 三坂育正(日本工業大学) |
| ・蒸発利用技術の性能評価方法 | 梅田和彦(大成建設) |
| ・ディスカッション | 吉田篤正(大阪府立大学)、西岡真稔(大阪市立大学)、 三木勝夫(三木コーティング・デザイン事務所)、 和田英男(日本塗料工業会)、藤本哲夫(建材試験センター) |
| ・まとめ | 森山正和(摂南大学) |

参加費(資料代含む)

会員 2,000円、会員外 3,000円、学生 1,500円

申込方法 E-mail またはFaxにて、催物名称、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mailアドレスを明記のうえ、申し込んでください。定員に達した場合は、お断りの方にのみご連絡します。

申込先 (社)日本建築学会 事務局 研究事業グループ 榎本

E-mail: enomoto@aij.or.jp Fax: 03-3456-2058